

2026 年度対応 大阪大学予想問題

大阪大学予想問題 第1回 解答・解説

解答

問1 (A)オ (B)イ (C)ウ (D)ア

問2 消費者がスマートラベルを広く受け入れ、その情報を信頼して利用する状態。

問3 人々が固定された日付ではなく、食品の実際の状態を示す情報に基づいて判断すること。

問4 (イ)・(エ)

問5 (イ)

問1 空所補充

解答

(A)オ environmental

(B)イ edible

(C)ウ condition

(D)ア resource

(A)environmental

該当箇所は、

food waste is now seen not only as an economic problem but also as an environmental and moral one です。

not only A but also B「AだけでなくBでもある」によって、

- an economic problem「経済的な問題」
- an environmental and moral problem「環境上・道徳上の問題」

が並べられています。したがって、

environmental「環境上の」が入ります。

不適切な選択肢

- artificial「人工的な」では、problemを自然に説明できません。
- appetite「食欲」は名詞なので、an appetite and moral problemとはなりません。
- schedule「予定」も文意に合いません。

(B)edible

該当箇所は、when deciding whether food is still edible です。

whether food is still edible は、食品がまだ食べられるかどうかという意味です。本文では、消費者が“best before”や“use by”の日付を見て、食品をまだ食べられるか判断すると述べられています。

ポイント

edible は形容詞で、「食べることのできる」「食用に適した」という意味です。

(C)condition

該当箇所は、more accurate information about the actual condition of food です。the actual condition of food は、食品の実際の状態という意味です。

スマートラベルは、印刷された日付だけではなく、

- 温度
- 細菌の活動
- 保存状態

などに反応し、食品の本当の状態を示します。

したがって、condition が適切です。

(D)resource

該当箇所は、as a valuable resource to be used with greater care and responsibility です。a valuable resource は、貴重な資源という意味です。

本文では、食品を少しでも不安があれば捨てるものではなく、慎重に利用すべき価値あるものとして捉えるようになる可能性が述べられています。

問2 内容説明

設問

下線部(1)once smart labels become widely accepted とは、具体的にどのような状態を指すか。本文の内容に即して、35 字以内の日本語で説明しなさい。

対応箇所

第 3 段落の次の部分を確認します。

consumers would need to learn how to interpret the new information correctly

If people do not trust the labels, or if they find them confusing, the system may fail to achieve its purpose.
once smart labels become widely accepted

読み方

once はここでは、「いったん～すれば」「～するようになれば」という意味です。問題は、widely accepted を単に、広く受け入れられると訳すだけでは不十分です。設問では、その状態を具体的に説明することが求められています。直前の文には、スマートラベルが機能するために必要な条件が二つ示されています。

- 消費者がラベルを信頼すること
- 消費者が新しい情報を正しく理解すること

反対に、do not trust the labels find them confusing なら、制度は目的を達成できないと述べられています。したがって、widely accepted とは、単に商品にスマートラベルが付けられることではありません。

多くの消費者がスマートラベルを信頼し、その情報を判断に利用する状態を指します。

答案例

消費者がスマートラベルを広く受け入れ、その情報を信頼して利用する状態。

〔35 字〕

答案に必要な要素

1. 消費者がスマートラベルを受け入れること
2. その情報を信頼すること
3. 食品についての判断に利用すること

35 字以内であるため、本文のすべてを長く書くのではなく、この三点を簡潔にまとめます。

不十分な答案①

スマートラベルが普及し、人々が食品を以前より大切に扱うようになる状態。

〔35 字〕

なぜ不十分か「食品を大切に扱うこと」は、スマートラベルが普及した結果として期待される変化です。しかし、下線部そのものが指すのは、

- ラベルを信頼する
- 情報を理解して利用する

という受容の状態です。原因と結果を取り違えています。

不十分な答案②

消費者が日付表示をやめ、すべてスマートラベルだけで食品を判断する状態。

〔35 字〕

なぜ不十分か

本文では、従来の日付表示を完全に廃止するとも、スマートラベルだけで判断するとも述べられていません。Instead of depending on fixed dates ...は、「固定された日付だけに依存する代わりに」という意味です。したがって、「すべて」「だけ」という限定を加えると、本文より強い内容になってしまいます。

2026 年度対応 大阪大学予想問題

採点基準 8 点

- スマートラベルが広く受け入れられること……2 点
- 消費者がその情報を信頼すること……3 点
- その情報を判断に利用すること……3 点

ポイント

抽象表現を具体化する問題では、下線部だけを直訳してはいけません。widely accepted=広く受け入れられるで終わるのではなく、誰が、何を、どのように受け入れるのかを前後から具体化します。

問 3 指示内容説明

設問

下線部(2)that の指す内容を、日本語で答えなさい。

対応箇所

Instead of depending on fixed dates printed long before a product reaches the kitchen table, people may begin to make decisions based on evidence that reflects real conditions. If that happens, food may no longer be treated as something to be thrown away at the first sign of uncertainty...

読み方

that は、直前の文全体を受けています。直前の文は、次の二つの内容から成り立っています。

- 商品が家庭の食卓に届くよりもずっと前に印刷された固定的な日付に頼らないこと
- 食品の実際の状態を反映する情報に基づいて判断すること

したがって、that が指すのは、人々が食品について判断する方法を変えることです。

答案例

人々が固定的な日付に頼らず、食品の実際の状態を反映する情報に基づいて判断すること。

必要な要素

1. 人々・消費者が判断すること
2. 固定的な日付に頼らないこと
3. 食品の実際の状態を反映する情報に基づくこと

不十分な答案①

人々がスマートラベルを利用し、少しでも不安のある食品を簡単には捨てなくなること。

なぜ不十分か

「食品を簡単には捨てなくなること」は、that が指す内容ではなく、その結果です。直前の文に述べられている「判断の基準が変わること」が答案の中心になります。

不十分な答案②

食品が家庭に届く前に印刷された日付を確認し、それに基づいて食べられるかを判断すること。

なぜ不十分か

本文とは逆の内容になっています。本文では、固定的な日付ではなく、食品の実際の状態を示す情報に基づいて判断することが述べられています。

採点基準 10 点

- 人々・消費者が判断すること……2 点
- 固定的な日付に頼らないこと……4 点

- 食品の実際の状態を反映する情報に基づくこと……4点

ポイント

that が前文全体を指す場合は、まず直前の文だけで内容が完結しているかを確認します。

この問題では、that は直前の一文全体を受けています。したがって、直前の文を「誰が・何を・どのように」という形で整理すると、答案が作りやすくなります。これは、先に学習した「that が前文全体を指す場合」の典型的なパターンです。

問4 内容一致

解答

(イ)・(エ)

(ア)不正解

Many people throw away food after the “best before” date because they correctly understand that it always indicates the limit of safety.

本文では、A “best before” date often refers to quality rather than safety とあります。“best before”は、安全性の限界ではなく、主として品質の目安です。また、多くの消費者はその意味を正しく理解しているのではなく、誤解しているため食品を捨てています。選択肢中の、correctly understand always indicates the limit of safety が本文と反対です。

(イ)正解

Smart labels may help reduce food waste because they can provide more exact information about the freshness and condition of food.

本文には、giving more accurate information about the actual condition of food allowing consumers and sellers to judge freshness more precisely とあります。スマートラベルが食品の実際の状態や鮮度をより正確に示すことで、不要な廃棄を減らせるという内容と一致します。

(ウ)不正解

The writer argues that food waste can be solved completely if individual consumers simply become more careful in daily shopping.

本文には、the problem is too large and complex to be solved by personal effort alone とあります。食品ロスは個人の努力だけでは解決できず、食品システム全体の変化が必要かもしれないと述べています。また、completely「完全に」も本文より強すぎる表現です。

(エ)正解

According to the passage, the spread of smart labels may encourage people to think of food as something valuable rather than easily disposable.

本文には、food may no longer be treated as something to be thrown away at the first sign of uncertainty, but as a valuable resource とあります。食品を簡単に捨てるのではなく、価値ある資源として扱うようになるという内容と一致します。

(オ)不正解

Supporters of smart labels believe that the technology is already inexpensive

enough for all small businesses to use without difficulty.

本文では、The technology would increase production costs, at least in the beginning, and small businesses might find it difficult to adopt.とあります。導入当初は費用が増え、小規模事業者には採用が難しい可能性があります。したがって、already inexpensive enough without difficulty は本文と反対です。

問 5 タイトル

解答

(イ)Smarter Food Information

(ア)不正解

Rethinking Food Consumption

「食生活を見直すこと」

本文では消費者の食品の扱い方が変わる可能性も述べられています。しかし、本文は食生活や消費行動全般を論じているのではありません。中心は、スマートラベルによって食品に関する情報を改善することです。

テーマが広すぎます。

(イ)正解

Smarter Food Information

「より適切で賢い食品情報」

本文は、

- 従来の日付表示が誤解されやすいこと
- スマートラベルが食品の実際の状態を示すこと
- より正確な情報が食品ロスを減らし得ること
- 消費者の判断や食品への向き合い方が変わる可能性

を論じています。

本文全体を貫いているのは、食品についての情報をより正確で有用なものにすることです。したがって、最も適切なタイトルです。

(ウ)不正解

Reducing Food Waste

「食品ロスを減らすこと」

食品ロス削減は本文の大きなテーマです。しかし、このタイトルは一般的すぎて、本文の中心的方法である、スマートラベルによる食品情報の改善が表されていません。本文の話題は含みますが、特徴が十分ではありません。

(エ)不正解

Trusting Food Labels

「食品表示を信頼すること」

消費者がスマートラベルを信頼することは、制度が成功するための条件です。

しかし、それは第 3 段落の一部にすぎず、本文全体の主題ではありません。

(オ)不正解

The Value of Fresh Food

「新鮮な食品の価値」

本文は、新鮮な食品の価値を説明しているのではありません。食品が実際に安全で食べられる状態かを正しく判断し、不要に捨てないことが中心です。fresh food だけに焦点を当てると、内容が狭くなります。

全訳

世界の多くの地域で、人々は日々廃棄される食品の量にますます強い関心を抱くようになっていく。レストランでは調理されたにもかかわらず提供されなかった料理が捨てられ、スーパーマーケットではまだ安全に食べられる商品が売り場から撤去され、家庭でも見た目が十分に新鮮でな

いという理由だけで食品が廃棄されることが少なくない。その一方で、何百万人もの人々が依然として飢餓や栄養不足に苦しんでいる。このため、食品ロスは現在、単なる経済的問題ではなく、環境上の問題であると同時に道徳的な問題でもあると考えられている。消費者が本当に必要なものだけを購入するよう、より注意深く行動すれば解決できると主張する人もいる。しかし一方で、この問題はあまりにも大きく複雑であり、個人の努力だけでは解決できないと指摘する人もいる。社会が食品ロスを本格的かつ長期的に減らしたいのであれば、食品システム全体にわたる、より広範な改革が必要になるかもしれない。

有望な取り組みの一つが、食品に取り付けられる「スマートラベル」の利用である。多くの国では、買い物客は食品がまだ食べられるかどうかを判断する際、「賞味期限(best before)」や「消費期限(use by)」といった印刷された日付を頼りにしている。しかし、こうした表示は誤解されることがある。「賞味期限」は多くの場合、安全性ではなく品質の目安を示しているにすぎない。それにもかかわらず、多くの消費者は、その日付を過ぎるとすぐに食品を捨ててしまう。その結果、食べることのできる食品が大量に廃棄されている。スマートラベルは、食品の実際の状態についてより正確な情報を提供することで、この問題を解決するよう設計されている。温度や細菌の活動に反応して色が変化するものもあり、それによって消費者や販売者は食品の鮮度をより正確に判断できる。また、供給網全体を通じて商品の輸送状況や

保存状態を追跡するデジタルシステムと連携できるものもある。大まかな推測を、より信頼性の高いデータに置き換えることによって、スマートラベルは食品安全に対する人々の信頼を高めると同時に、不必要な食品廃棄を減らすことにも役立つ可能性がある。

しかし、そのようなラベルの導入には困難も伴う。少なくとも導入当初は生産コストが増加し、小規模事業者にとっては導入が難しい場合もあるだろう。さらに、消費者も新しい情報を正しく読み取る方法を学ばなければならない。もし人々がラベルを信頼しなかったり、その表示を分かりにくいと感じたりすれば、この仕組みは本来の目的を果たせないかもしれない。しかし、この技術を支持する人々は、スマートラベルが広く受け入れられるようになれば、人々と食品との関係そのものが変化する可能性があると考えている。家庭の食卓に届くずっと前に印刷された固定的な日付だけに頼るのではなく、人々は食品の実際の状態を反映した情報に基づいて判断するようになるかもしれない。もしそうなれば、食品は少しでも不安があればすぐに捨てるものではなく、より慎重に、そして責任をもって利用すべき貴重な資源として扱われるようになるだろう。そのような変化だけで飢餓がなくなるわけではない。しかし、それはより持続可能な社会を築くための重要な一歩となる可能性がある。